

新ひだか町図書館資料選定基準

令和2年7月22日 教育長決定

この選定基準は「新ひだか町図書館資料収集方針」に基づき、新ひだか町図書館の資料の収集にあたっての具体的基準を示したものである。

1 図書資料

(1) 一般図書

① 共通事項

- ア 地域社会の特性を考慮すると共に、利用動向も視野に入れて選択する。
- イ 主題別蔵書構成を考慮しながら、必要にして不足している分野については計画的に収集する。
- ウ 新しい主題に留意し、時宜に適した資料は、時期を失わず収集する。
- エ 図書館資料として永続的な利用価値のある資料を選択するよう留意する。
- オ 各分野における原典、古典、名著は、所蔵資料と内容を比較検討し、必要とするものを収集する。
- カ 各分野における受賞作品は優先的に収集する。
- キ 各分野の入門書・概説書は、専門的観点から記述された内容の充実したものを収集する。専門書については大学初学者程度を基準とする。

② 主題別事項

ア 総記

- (ア) 情報科学関連資料は、最新技術の動向に留意して収集する。
- (イ) 図書館、博物館関係の資料は収集に努め、図書館及び博物館のサービス向上に役立てる。

イ 哲学・宗教

- (ア) 哲学、心理学、倫理学、宗教等は、基本図書を中心とし、利用動向を見ながら厳選する。
- (イ) 占い、人生訓、処世法等は利用動向を見ながら厳選する。

ウ 歴史・伝記・地理

- (ア) 日本および各国の歴史資料は、入門書、概説書を中心とし、利用動向を見ながら収集する。
- (イ) 伝記的史料は日本人、外国人を問わず幅広く収集する。
- (ウ) 地理・地誌は、最新のデータに留意して収集する。
- (エ) 旅行ガイドブックは代表的なものを収集し、適宜、最新の資料に更新する。

(オ) 北海道の歴史・伝記・地誌のうち、学術的な資料は地域資料として収集する。

エ 社会科学

(ア) 社会科学は、各分野の基本図書その他、時事性のあるもの、今日的課題を重視して収集する

(イ) 政治・経済・社会・文化事情については、最新の国内・国際事情を把握するための資料を積極的に収集する。ただし、政治・経済に関して、比較的短期的な視野に立った内容のものについては精査する。

(ウ) 法律の解説書、研究書は法律の制定及び改正の都度、または必要に応じて基本的なものを収集する。

(エ) 経済・経営関係資料は、類書を比較検討して収集する。

(オ) 生活・消費者問題、労働問題、女性・家庭問題、社会福祉に関する資料は幅広く収集する。

(カ) 教育関係資料は、家庭教育に役立つ資料を中心として収集する。

(キ) 風俗習慣・民俗学は、基本図書および生活に役立つ実用書を中心に収集する。

オ 自然科学

(ア) 各分野の基本図書を体系的に収集する。

(イ) 自然科学の最新情報に留意し、常に新しい資料の収集に努める。

(ウ) 医学の分野については、利用動向に配慮しながら常に最新の資料の収集に努める。

カ 技術・家政学

(ア) 技術の進展に留意し、最新の資料の収集に努める。

(イ) 家政学・生活科学は基本的なものを中心に収集し、衣服・料理・育児については、実用の面に重点をおいて収集する。

キ 産業

(ア) 各産業の動向や政策等に留意し、最新の資料の収集に努める。

(イ) 農業・園芸・畜産業・漁業など、地場産業に役立つ資料は地域資料とは別に収集する。

(ウ) 趣味・実用に役立つ資料は積極的に収集する。

ク 芸術

(ア) 美術、音楽、演劇、諸芸、娯楽は、各分野の基本図書を中心に収集し、実用書、技術書は類書と比較し、内容を精査して収集する。

(イ) 美術全集、画集、写真集は類書と比較し、評価の高いものを収集する。

(ウ) コミックは各種の受賞作品や評価の定まったものを収集する。

(エ) 芸術の各分野の人物研究、作品研究は幅広く収集する。

(オ) スポーツは、最新の規則や基本的な技術書を中心に収集する。

ケ 言語

- (ア) 教養、実用、学習に役立つ資料を収集する。辞典類のうち、特に日本語は主要なものを収集する。
- (イ) 各言語の語学書については、中国語、朝鮮語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語を中心に収集し、少数言語についても収集に努める。

コ 文学

- (ア) 文学は、読み物を中心として、詩歌、古典および研究、評論、研究書も併せて収集する。
- (イ) 現代の文学作品は、評価の高い作品、各種文学賞の受賞作品、話題となった作品を中心に収集する。

(2) 参考図書

- ① 各分野の専門的かつ網羅的な情報を持つ資料を収集する。
- ② 百科辞典、各分野の事典、辞典、用語集、年表等は、基本的なものを収集し、改訂の都度、または必要度に応じて更新する。

(3) 児童図書

児童図書は、各年齢層の発達段階に則した内容のものを、各分野にわたり幅広く収集することを原則とし、主題毎の選定基準は一般書に準ずる。

- ① 絵本、読み物については、基本的・代表的なもの及び、各種の受賞作品等一定の評価の定まったものを中心とし、幼児・児童の娯楽作品としての側面も重視する。
- ② 知識に関する図書は、学習指導要領に配慮しつつ、内容が正確で分かりやすいものを最新のデータに留意して収集する。
- ③ 社会の新しい動向について、理解を深めるための資料の収集に努める。
- ④ 一定の評価を経て復刻された図書について未所蔵のものは、積極的に収集する。

(4) ヤングアダルト図書

図書館利用が少ない中学生、高校生の年代であるヤングアダルト層の利用を促すため、一般・児童とは別に、ヤングアダルト世代が求め、利用すると考えられる資料の収集に努める。

(5) 外国語図書

- ① 外国語絵本は、国内外で評価の高いものを中心に収集する。
- ② 一般向け外国語図書は、評価の高い文学作品を中心に収集する。

(6) 高齢者及び障がい者サービス資料

年齢および障がい等により図書資料の利用が困難な利用者のため、大活字本・録音図書・LLブック等を、利用動向を見ながら積極的に収集を図る。

2 地域資料

(1) 新ひだか町関係資料（旧静内町・旧三石町）関係資料はすべて収集する。

- ① 新ひだか町の歴史に関する資料
- ② 新ひだか町の地域に関する資料（地図・文化・伝説等）
- ③ 地域内刊行資料（地域の会社・施設・寺社等の刊行物、パンフレット等）
- ④ 行政資料
- ⑤ 逐次刊行物（同人誌・ミニコミ誌・紀要等）
- ⑥ 地域出身・在住者の著作
- ⑦ 姉妹都市・友好市町の主に歴史関係資料

(2) 日高管内関係資料は収集に努める

※ 資料の種別は新ひだか町関係資料に準ずる。

(3) 北海道関係資料は収集に努める

- ① 北海道の自治体史は極力収集する。
- ② 北海道の歴史的資料・学術的資料は収集に努める。

(4) 馬・軽種馬関係資料は、町民の関心の高い分野や、資料的価値が高く、産業育成の面において役立つ資料を中心に、馬全般についても極力収集する。

(5) アイヌ関係資料は、歴史・文化に関する資料を中心として、町民の関心の高い分野や、資料的価値が高いものを収集する。

3 逐次刊行物

速報性に優れ、図書資料を補完する資料として、また、教養・娯楽のための資料として、資料価値を勘案ながら、幅広い分野を体系的に継続して収集する。

(1) 新聞

多様な視点からの情報を提供するため、道内紙、地元紙、代表的な全国紙を収集する。

(2) 雑誌

- ① 歴史、政治、経済、社会の分野については、代表的な資料を収集する。
- ② 自然科学、医療の分野については、図書を補完する速報性の高いものを収集する。
- ③ 趣味、家政学、生活科学については、実用的な資料を中心に収集する。

- ④ 芸術、教養、文学の分野については代表的な資料を収集する。

4 視聴覚資料

(1) 映像資料

- ① 国内外の古典や名作、各賞の受賞作品を中心に収集する。
- ② 児童向け作品は、童話・昔話等を中心に、娯楽性も考慮しながら収集する。
- ③ 教養・実用・芸術等は、日常生活に役立つものを幅広く収集する。
- ④ 館内上映の著作権上の許諾が得られているものは積極的に収集する。

(2) 録音資料

- ① クラシックについては、代表的な古典作品、主要な作曲家・演奏家・指揮者の作品を収集する。
- ② 外国・日本のポピュラー・ジャズ・シャンソン・イージーリスニング等については、評価の高いアーティストや作品を幅広く収集する。
- ③ 児童向け作品は、童謡・唱歌等を中心に、幅広く収集する。
- ④ 伝統芸能・民族音楽・実用音楽（効果音・式典音楽等）は幅広く収集する。